



みやぎ視能訓練士の会

The Association of Miyagi Orthoptists

3 月号の会報をお送りします。

～内容～

- | | |
|---------------------------|----|
| ① <募集> みやぎ視能訓練士の会 運営委員募集！ | P2 |
| ② <議事報告> 2023 年度第 3 回議事報告 | P3 |
| ③ <トピックス> 能登地震支援活動～ビジョンバン | P4 |

★☆☆会報、その他に関してのお問い合わせ

koho@myg-ort.com

☆☆★会員記録や登録アドレスに関してのお問い合わせ

j.ort@myg-ort.com

★☆☆会費に関してのお問い合わせ

kaikei@myg-ort.com



第 15 回施設紹介は
『むとう眼科医院』です！
ホームページを
ご覧ください♪



<https://www.myg-ort.com/>



みやぎ視能訓練士の会

運営委員

募集中心

運営委員は、会の活動全般の管理を行います。会を使ってやりたい事の企画、運営、意見を求めています。

求む！新しい風

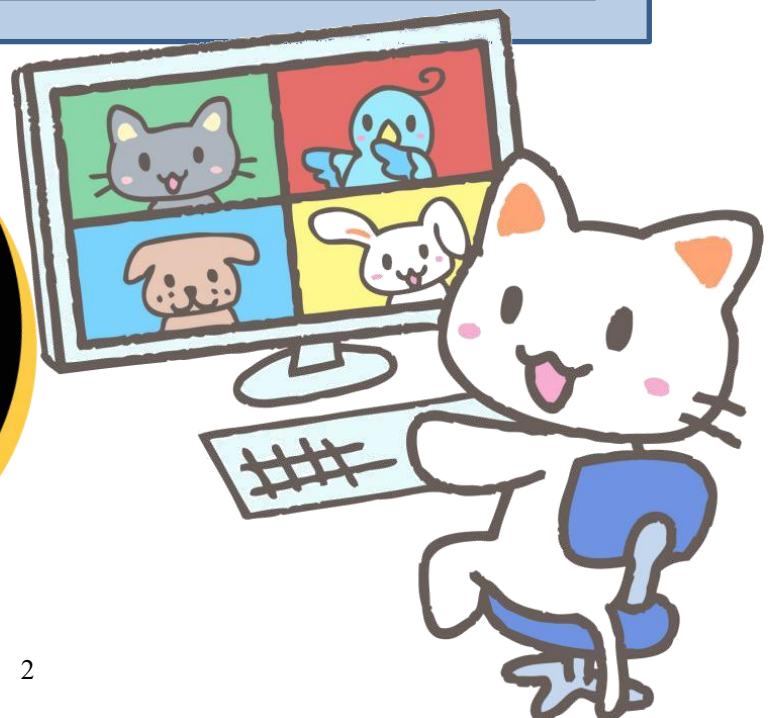


miyagi@myg-ort.com

二本柳宛



Web 会議メインなので
スマートフォンでも
参加可能です！



2023 年度第 3 回運営委員会 議事報告

【開催日時】 2024 年 2 月 6 日(火) 19:30～21:25

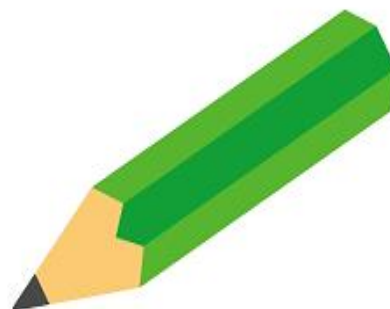
【開催形式】 zoom による web 会議

【出席者】 6 名

太田五月 小野寺真司 川上綾子 佐々木千賀 西山安希 二本柳淳子(五十音順)

【議題】

1. 会計より
年会費滞納の会員の確認を行った
2. 来年度運営委員候補者(今年度終了／推薦者)について
来年度の運営委員候補者、今期終了の運営委員の相談を行った
来年度の運営委員を会報で募集予定
3. 事務局引き継ぎについて(仕事分担・新事務局等)
事務局の業務内容の共有方法について、来年度メールの一斉配信締切等について相談を行った
現在の会員数の確認、メールでの連絡が取れない会員についての確認を行った
4. 三歳児健診参加者への分担金について
参加者への分担金額と、分担方法の確認を行った
三歳児健診屈折検査の反省会を 2024.03. ～04に開催予定
5. チーム制振り返り
各チームの活動報告と反省を行った
6. ホームページ運用(パスワード管理について)
パスワード管理の必要性をホームページのあり方について話し合った
7. その他
三歳児健診検査員募集、みやぎ視能訓練士の会会員募集のチラシを眼科医会会員宛に配布予定



1.5次避難所に「ビジョンバン」を派遣、日本眼科医会

レポート 2024年1月22日(月) 高橋直純(m3.com編集部)



日本眼科医会は1月20、21日、能登半島地震での1.5次避難所2カ所に眼科医療支援車両「ビジョンバン」を派遣した。両日で82人を診察し、点眼薬や老眼鏡を配布した。

ビジョンバンは眼科検査に必要な暗室機能を備えており、平時には健診を主体とした活動、有事に際しては救援活動を行っている。東日本大震災での被災地眼科診療支援活動の経験をもとに、宮城県地域医療復興計画の一環で、宮城県から宮城県眼科医会に眼科健診車両事業が認可された。2016年に日本眼科医会に移管されたが、現在も仙台市に保管されている。



日本眼科医会では1月3日に災害対策本部を立ち上げ、同14日には眼科医療ニーズを調べるためにJMATに同行して被災地を訪問。各避難所での眼科ニーズの有無を尋ねるアンケートなどを行った結果、地元医療が逼迫している金沢市内の1.5次避難所にビジョンバンを派遣することになった。

訪問したのは金沢市内の「額谷ふれあい体育館」と「いしかわ総合スポーツセンター」に設置された避難所。両日で受診者は82人。そのうち9人は寝たきりなどでビジョンバンまで来られないため、スポーツセンター内に医師が往診する形で診察した。石川県眼科医会会長の牛村繁氏によると、受診者は高齢者が多く、「点眼薬がなくなった」、「老眼鏡(近用眼鏡)をなくした」、「避難所内が乾燥していて眼乾燥感が強い」などの訴えが多くあったという。牛村会長によると、被災者が地縁のない避難所周辺の眼科に自ら受診することは難しく、診察の際に近隣の眼科を紹介することもあったという。

受診者の費用負担はなく、点眼薬やコンタクトレンズ、老眼鏡などは、関連団体から寄付されたものが無償提供されている。眼科医は県眼科医会、金沢大、金沢医大のほか、日本医師会、日本眼科医会の医師がボランティアとして参加した。牛村会長は「能登半島の被災地には道路状況が悪く、現時点ではビジョンバンでは行けなかった。今後もニーズがあれば支援を行っていきたい」と話した。